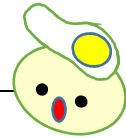




桜、フキノトウ、卒業、どれも春を思い起こす言葉ですが、私は特にタイヤ交換の時に春を感じます。少し肌寒さを感じながら、熱いコーヒーを片手にする地道な作業…嫌いじゃないです。

☆令和4年度長岡市自立支援協議会活動報告（各部会の活動報告です）



部会名	会員数	令和4年度活動内容
相談体制部会	14名	市内の相談体制の議論と共に、R3年度実施の障害者基幹相談支援センターの機能評価を受け、改善計画等を作成した。
相談支援部会	22名	計画相談の新規受入困難、たらいまわしを解消すべく、受入件数の見える化と効果的なアクションプランの作成を行った。
就労部会	8名	就労移行支援事業所、支援機関のそれぞれで情報交換会を開催し、各機関の立場から課題の整理等を行った。
地域づくり部会	11名	令和5年度の地域生活支援拠点等事業スタートに向け、関係機関への説明、役割調整、対象者の絞り込み等を実施した。
サービス受け皿検討部会	10名	強度行動障害に対する理解を深め、補助事業の検証実施とサービスの利用促進に向けた支援者向け研修会を開催した。
精神障害にも対応した地域包括ケアシステム協議の場	16名	当事者・家族がアクセスしやすい相談窓口一覧、特に緊急医療相談に焦点を当て、検討と原案作成を行った。

※会員数には事務局職員も含まれます。

部会にご参加いただいた各関係機関の皆様、お忙しいところ本当にありがとうございました。

○自立支援協議会に参加して（^^♪

相談支援専門員として業務の中で感じている課題、あるいは自立支援協議会の中で各分野の方が提起してくださる課題と、当地域にもまだまだ多くの課題が山積しているのだと実感しています。

協議会ではそれらの解決に向け、皆で熱心にアイデアを出し合っておりますが、元々熱意溢れる現場の精鋭たちが集まる会議ですから、各自の意見や思いを整理しながら「成果」を出すことは決して容易ではありません。それでも皆で知恵を絞り「地域をより良くしたい」という決意の下に団結する中で、私自身も事業所代表として、とてもやりがいを持って参加させてもらっています。

障害のある人もない人も、誰もが幸せに暮らすことができる長岡を目指して、今後とも自立支援協議会に関わっていければと思っています。



地域づくり部会委員
障がい者支援センターあさひ
坂詰相談支援専門員

日頃から、とても頼りになる坂詰委員!今後ともよろしくお願いします。
我こそは部会に参加したいと思われる事業所の方は、ぜひご一報を(^^)/



★TSUNAGARU ④ 越路ハイム地域生活支援センターさん

今回の TUNAGARU は医療法人崇徳会「越路ハイム地域生活支援センター」さんにおじゃましました。



長岡市三ツ郷屋2-3-11 職員体制:相談支援専門員4名、地域活動支援センター職員1名
TEL:0258-27-4266 FAX:0258-27-4265 ✉:siencenter@sutokukai.or.jp

Q.地域生活支援センターってなに？

A.以前は様々な機能がセンターに集約されていましたが、利用者の増加や就労支援施設の新設・移設等に伴い、現在は主に相談支援事業と地域活動支援センターを併せて当所で運営しています。「地域生活支援センター」の名の通り、常に障害者の方に寄り添いながら、地域での生活を支える身近な存在でありたいと考えています。またその昔、越路地区(現在のうらら長岡)に事業所があった名残から「越路ハイム」としてしますので、越路に事業所があると思う方が多いのですが、実は平成12年から現在の三ツ郷屋にあります。

Q.職場の雰囲気はどう？

A.ここは、地域活動支援センターの利用者が憩いの場として来所されるため、賑やかで明るい雰囲気です。職員も利用者の方たちの元気な顔を見ながら仕事ができるので、それが良い息抜きになることもあり、お互いにとって良い環境だと思っています。

Q.仕事のやりがいはなに？

A.センター設立の大きな目標は、「障害をお持ちの方の、地域での安心・安定した暮らしを支える」というものです。丁寧に時間をかけたお付き合いの中で、利用者の方の生活の質が向上し、その方なりに安定して、穏やかに暮らすお手伝いができていると実感できた際には、とても嬉しく思います。

Q.日々の業務で感じる課題は？

A.市内の福祉サービスがもっと充実し、多様化すればいいなと感じています。特に交通手段や送迎の問題で、せっかく利用が決まっても通うことができなかつたり、そもそも受け入れ先が見つからなかつたりと、これは相談支援事業所の共通課題の一つではないでしょうか。

Q.越路ハイムの皆さんのリフレッシュの方法は？

A.支援員は多趣味で、登山、テニス、スキー、食べ歩きと、リフレッシュ方法はたくさんありますが、最近は家事育児に追われ、仕事と休日のどちらでリフレッシュしているのか分からなくなっています<(`^´)>主婦って大変ですよー！

N 支援員の趣味の一つ「刺し子」

なにやら全く分かってない

ああー、サシコね完璧に理解した

～本誌をご活用ください～

研修会をPRしたい、事業所を紹介したいなど、ご要望は障害者基幹相談支援センターまで
長岡市表町2丁目2番地21(社会福祉センター トモシア2F)
0258-39-2362 0258-86-0220(FAX) n-kan-soudan@city.nagaoka.lg.jp